

3	「誇れる」まちの安全・安心で笑顔に	1	水はいのちの源です。西条市の水を守る立場で、西条分水実現に努力します。		
取組名		新規水源の確保		担当課	水資源担当部長付
実績		●H22年度 第2～3回「水問題に関する協議会」幹事会開催 ●H23年度 第4～7回幹事会開催 西条市、新居浜市、松山市において市民説明会を開催 ●H24年度 西条市道前平野地下水資源調査研究委員会の答申 西条市の地下水を維持するためには、 加茂川から毎秒3.5立方メートルの補給が必要 ●H25年度 第8回幹事会開催 上記委員会の答申内容について西条市側から報告 ※H22.9に、愛媛県、西条市、新居浜市、松山市の4者による 「水問題に関する協議会」を設置			
		 水問題に関する協議会幹事会			

3	「誇れる」まちの安全・安心で笑顔に	1	水はいのちの源です。西条市の水を守る立場で、西条分水実現に努力します。						
取組名		節水型都市づくりの推進			担当課	水資源担当部長付			
指標	節水機器購入等補助件数 H22年度 H23年度 H24年度 H25年度 H26.11末現在								
	バスポンプ	133	104	102	58	22	件		
	バスポンプ付洗濯機	5,312	4,090	3,966	4,118	1,629			
	シングルレバー	87	66	52	52	25			
	水源涵養林の整備面積(累計)							753	ha
実績	●各種助成制度による節水等の推進 ・節水機器購入等補助制度(H9年度～) ・雨水貯留施設購入助成制度(H12年度～) ・大規模建築物の雨水利用促進補助制度(H17年度～) ●新たな啓発活動 ・水の週間啓発イベントの開催(H24年度～) ・水への絵はがき募集(H25年度～) ・雨水利用啓発モデル事業(H25～26年度) ●水源保全活動の推進 ・水源涵養林の整備 ・地下水保全策検討事業(H23年度～) ●家庭における水使用量調査(H25～26年度) ●雨水貯留施設設置事業(H25年度～) ●市民1人1日当たりの上水道使用量 286ℓ (H25年度) (中核市で2番目に少ない)  石手川ダム								

3	「誇れる」まちの安全・安心で笑顔に	2	JR松山駅周辺整備、松山外環状道路の早期完成を目指すなど、50万都市にふさわしい都市基盤の整備を進めます。
取組名	JR松山駅周辺整備の促進	担当課	松山駅周辺整備課
実績	●土地区画整理事業(16.7ha) 概算事業費 289億円 施行期間 H20～32年度 ●H23年度 公共施設用地の先行買収、仮換地指定 車両基地跡地利用庁内検討委員会設置 ●H24年度 公共施設用地の先行買収完了 実施設計及び建物移転補償協議等 松山駅周辺笑顔あふれるまちづくり推進協議会の設置 松山駅周辺まちづくり審議会の設置 ●H25年度 実施設計及び建物移転補償協議等 宅地造成、道路築造工事の実施 車両基地跡地の基本構想(案)の検討等 ●H26年度 実施設計及び建物移転補償協議等 宅地造成、道路築造工事の実施 車両基地跡地の基本構想(案)の検討等		
			
	JR松山駅 整備イメージ図		

3	「誇れる」まちの安全・安心で笑顔に	2	JR松山駅周辺整備、松山外環状道路の早期完成を目指すなど、50万都市にふさわしい都市基盤の整備を進めます。
取組名	松山外環状道路の整備	担当課	道路建設課
実績	●事業主体 国・愛媛県・松山市 ●事業期間 平成15～28年度 ●総事業費 169億円 ●H23年度 インター線 松山中央公園駐車場復旧工事完了、高架橋工事 空港線 詳細設計完了、用地調査・買収及び建物移転補償 ●H24年度 インター線 松山中央公園高架橋工事 空港線 用地調査完了、用地買収及び建物移転補償 ●H25年度 インター線 松山中央公園高架橋工事完了、余戸工区全般の工事 一般県道久米垣生線の開通 井門IC～古川IC開通(H26.3) 空港線 用地買収及び建物移転補償 ●H26年度 インター線 余戸西～国道56号までの側道部開通(H27.3予定) 市坪IC～余戸南IC開通(H27.3予定) 空港線 用地買収及び建物移転補償 洗地川橋梁工事に着手		
			
	インター線 井門IC～古川IC開通式		

3	「誇れる」まちの安全・安心で笑顔に	3	小中学校、公民館などの耐震化を進め、防災士の養成強化など、災害に強いまちを目指します。			
取組名	小中学校の耐震化			担当課	学習施設課	
指標	校舎の耐震化率	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26.11末現在
	小学校	75.4	77.4	79.2	82.6	87.2
	中学校	83.8	86.7	90.4	92.8	95.2
実績	●完了予定をH33年度からH29年度に前倒して実施  耐震化された校舎 ※災害時避難所となる小中学校体育館の耐震化はH20年度までに完了					
取組名	公民館等の耐震化			担当課	学習施設課、管財課、文化・スポーツ振興課、保育・幼稚園課、住宅課	
指標	公民館の耐震化率	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	
		80.5	82.9	85.4	90.2	%
実績	H23年度 東雲公民館 H24年度 荏原公民館 H25年度 泊公民館、雄郡公民館 H26年度未完了見込 北条公民館、桑原公民館 ●主な市有施設の耐震化(完了年度ごと) H24年度 北条支所、久谷支所 H25年度 松山市民会館、八雲保育園 H26年度 中島支所 ●市営住宅の耐震化率 H22年度 H26.11末現在 68% ⇒ 79%					

3	「誇れる」まちの安全・安心で笑顔に	3	小中学校、公民館などの耐震化を進め、防災士の養成強化など、災害に強いまちを目指します。				
取組名		民間施設の耐震化の支援		担当課		建築指導課	
指標		H22年度 H23年度 H24年度 H25年度 H26.11末現在					
木造住宅耐震改修等補助件数		—	4	19	34	50	件
実績		●特定建築物の耐震改修の促進 ・病院・ホテル・幼稚園など対象となる民間建築物の所有者に対し、耐震診断費用を補助(H25年度～) H25年度補助件数:3件 ・耐震改修等費用を補助(H26年度～) ●木造住宅の耐震改修の促進 ・S56.5.31以前に着工された木造住宅の所有者に対し、耐震改修工事費を補助(H23年度～) ・改修工事費の補助限度額を60万→90万円に増額(H26年度) ・「住まいるリフォーム補助事業」との連携(H26年度) 					

3	「誇れる」まちの安全・安心で笑顔に	3	小中学校、公民館などの耐震化を進め、防災士の養成強化など、災害に強いまちを目指します。				
取組名		地域防災力の向上			担当課	消防局総務課 消防局警防課	
指標	H22年度 H23年度 H24年度 H25年度 H26.11末現在						
	防災士資格取得者数	1,122	1,344	1,615	2,009	2,332	人
	H22年度 H23年度 H24年度 H25年度 H26.11末現在						
	消防団員数	2,335	2,345	2,359	2,377	2,436	人
	女性消防団員数	142	171	156	187	199	人
実績		●消防団ポンプ蔵置所の耐震化 H24年度 味酒分団・三津浜分団消防ポンプ蔵置所 H25年度 和気分団・清水分団消防ポンプ蔵置所 H26年度 新玉分団消防ポンプ蔵置所 ●自主防災組織結成率100%達成(H24.8) ●防災士資格取得者数 日本一 保育士27名、幼稚園・小学校教員213名が防災士資格取得(H24～25年度) 防災士2,000人達成(H26.3末) ●消防団女性分団発足(H23.4) 女性消防団員数 日本一 ●まつやま・だん団プロジェクト(H24.4～) 消防団員数 四国一 ●機能別消防団の充実 大学生、郵便局、事業所、島しょ部女性消防団員 ●機動重機消防団発足(H25.5) ●防災まちづくり大賞消防庁長官賞受賞(H26.2)					
							
		事業所消防団		地区防災訓練			

3	「誇れる」まちの安全・安心で笑顔に	3	小中学校、公民館などの耐震化を進め、防災士の養成強化など、災害に強いまちを目指します。		
取組名		災害発生時の体制整備		担当課	危機管理担当部長付
指標		就任時		H26.11末現在	
		災害応援協定締結数		50	78
実績		●総合政策部に危機管理担当部長を配置(H23.11) 事務職、土木技師、建築技師、消防士、保健師を配置 災害対策本部室を本庁舎に常設 ●災害対応強化のため、応援協定を締結(33協定) ※就任以降の主な協定 建設業協会松山支部、愛媛県トラック協会松山支部、市医師会、市歯科医師会、県薬剤師会、横須賀市、熊本市、市内金融機関 ほか ●災害用備蓄として市内全小学校にリヤカー・発電機を配備 ●標高マップシステムの構築(H25.1公開) 自主防災組織と連携して、標高表示板の貼付を実施 ●新たな被害想定に基づく地域防災計画の見直し(H26.3) ●全職員に対し、危機管理対応ハンドブックを配布(H26.4) ●危機管理マニュアルの編さん(H26.4) ●主幹級以下全職員を対象とした危機管理研修の実施(H26.9) ●デジタル防災行政無線の運用開始(H26.10)			
 本庁舎内に常設化した災害対策本部室での図上訓練					

3	「誇れる」まちの安全・安心で笑顔に	3	小中学校、公民館などの耐震化を進め、防災士の養成強化など、災害に強いまちを目指します。																	
取組名		AEDの設置促進		担当課	学習施設課 保健体育課 消防局総務課															
実績		●全小中学校に概ね3台のAEDを設置(H23年度～) ・施設利用者がいつでも使用できるよう体育館の外壁など屋外にも設置 ・小中学校、幼稚園教員を対象とした 応急手当普及員養成講習及び救命救急講習会の開催 ・中学校授業において 心肺蘇生法トレーニングセットを活用した実習の実施 ●全公民館にAEDを設置(H24年度～) ●離島地域の消防ポンプ蔵置所にAEDを設置(H26年度～)																		
取組名		通学路安全対策の推進		担当課	学校教育課、保健体育課、 道路建設課、総合交通課															
実績		●通学路の緊急合同点検(H24.7) 教育委員会、警察、国、県、市、学校関係者、保護者、地域住民で実施 ●危険箇所への対策 可能な対策から実施し、対応状況についてHP等で公開<table><tr><td></td><td>H25.1.22現在</td><td>H26.11.30現在</td></tr><tr><td>要対策箇所</td><td>291箇所</td><td>297箇所</td></tr><tr><td>対策完了箇所</td><td>38箇所</td><td>178箇所</td></tr><tr><td>対策予定箇所</td><td>228箇所</td><td>92箇所</td></tr><tr><td>対策困難箇所</td><td>25箇所</td><td>27箇所</td></tr></table> ●子ども目線の交通安全マップ作成(H24～25年度) 市内全小学校で作成し、H26.3に在校生に、H26.4に新入生に配布 ●通学路安全対策事業(道路改良) (主な路線) 北条辻下難波線 河野五明線 中央山越線 久枝202号線 和気54号線 清水17号線 鮎屋町護国神社前線 新玉27号線					H25.1.22現在	H26.11.30現在	要対策箇所	291箇所	297箇所	対策完了箇所	38箇所	178箇所	対策予定箇所	228箇所	92箇所	対策困難箇所	25箇所	27箇所
	H25.1.22現在	H26.11.30現在																		
要対策箇所	291箇所	297箇所																		
対策完了箇所	38箇所	178箇所																		
対策予定箇所	228箇所	92箇所																		
対策困難箇所	25箇所	27箇所																		